



「けんちゅう」農林だより(5月号)

「みんなで創る農業・農村3A運動」県中地方農林業・農村振興計画推進本部の取り組み



地方推進本部・地方農業圏連携強化推進協議会・農林業団体・農業事業者等の活動状況

◆キュウリ根腐病対策土壌消毒を実演！

環境に配慮した農業や安全・安心な農産物に対する消費者の関心が高まっている中、岩瀬地方の夏秋キュウリ産地においては、土壌病害であるホモブシス根腐病による被害が拡大しています。

このため、熱水土壌消毒の第一人者である「独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構」の西和文室長を招き、4月14、15日、熱水土壌消毒法等についての講演会が開催されました。

また、鏡石町豊郷のほ場で(株)神奈川肥料による熱水土壌消毒の実演会が行われました。参加者は、県内初の熱水土壌消毒を目の当たりにし、その効果に期待を寄せていました。



◆須賀川・岩瀬地方の鉢物・枝物展示即売会が開催されました。

須賀川・岩瀬地方の花きの生産振興を図り、生産者の意識向上と住民の花と緑に対する認識を高めることを目的として、4月24日にすかがわ岩瀬花き品評会実行委員会主催「鉢物・枝物展示即売会」が農産物直売所はたけんぼで開催されました。

当日は、カーネーション、マーガレット、あじさいなどが豪華に展示され、買い物客など多くの人達の目を楽しませていました。

また、午後からは、「春の寄せ植え教室」が開かれ、参加した主婦ら20名は、生産組合の高橋功二氏の指導で、寄せ植えの技術を学びました。



◆広戸第3地区農業集落排水処理場(天栄村)の通水式が行われる。

4月21日、「広戸第3地区農業集落排水処理場」の通水式が天栄村小川地内において行われました。村では、昭和62年度から管内の他の市町村に先駆けて農業集落排水処理施設の整備に取り組んできており、他事業による整備も含め現在まで8ヶ所の処理施設が稼働しています。

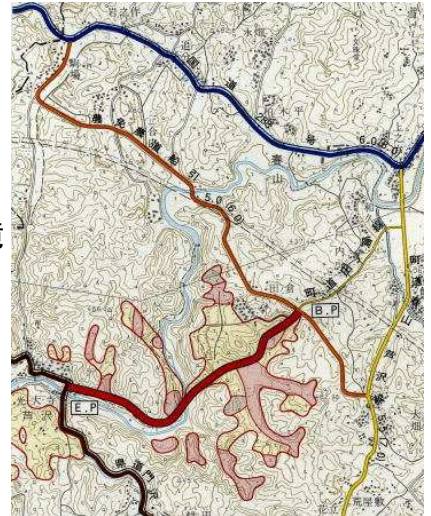
本施設が整備されたことにより地域の水環境や生活環境の改善が図られ、「森と湖といで湯の里天栄」をキャッチフレーズに進められている「心豊かな村づくり」の実現、更には阿武隈川の水質改善にも寄与するものと期待されています。

◆県営農免農道整備事業田ノ倉地区(船引町)が竣工する。

4月4日、船引町芦沢地内において県営農免農道整備事業田ノ倉地区の「農道竣工並びに嘉相滝(かそうたき)橋渡橋式」が行われました。

当地区は、大滝根川を挟んだ光大寺集落と田ノ倉集落からの農地への通作や農作業の改善を図るため、平成5年度に橋の架設を中心とする農道整備事業として採択されました。

また、本農道は、農道としての機能のみならず農村地域の定住環境の改善や、船引町西部大畑地域から郡山市へのアクセス道路としての役割も果たすものと、大いに期待されています。



◆県中地方農林水産部出先機関連絡会議を開催

4月14日、県中地方農林水産部出先機関連絡会議を開催しました。会議は、県中地方の農林行政の円滑な推進を目的に年7回開催することとしています。

当日は、平成16年度の会議開催計画について承認されたほか、「新たな米政策改革における売れる米づくりの取り組み」について、意見交換を行いました。

現地調査では、郡山市日和田町のJAパールライン福島(株)の中央精米工場において、荷受け～前処理～精米精選～後処理～梱包の一連の精米工程を視察しました。この工場では、玄米に無理な力を与えず搗精(とうせい)する最新鋭の精米機により、食味や品質に優れた白米に仕上げています。また、精米の成分分析や厳密に行われている品質管理等は、今後の「売れる米づくり」の方向性を示すものです。



[●福島県のトップページ](#) ●[福島県のサイトマップ](#)
[■県中農林事務所のトップページ](#) ■[県中農林事務所のサイトマップ](#)

